

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年12月20日更新

事務事業名	コミュニティ運営事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連
総合計画体系	政策	3	教育の健康		所属部	教育委員会事務局教育部	課長名 牧野 淳一
	施策	10	生涯学習の推進		所属課	生涯学習課	担当者名 遠坂 未来子
	施策の柱	38	生涯学習団体の育成		所属班	生涯学習班	(内線) 1505
予算科目	会計一般	款 10	項 5	目 1	事業連番 10815	根拠法令 合志市社会教育関係団体活動事業補助金交付要綱	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (年度)	

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	各コミュニティ運営委員会への補助金の交付 平成30年度に(10764)コミュニティ指導員配置事業と統合し、コミュニティ指導員の報酬支払い、各コミュニティ指導員の配置の体験講座の実施も行なう。 旧合志地域にはコミュニティの仕組みが無いので、その点について区長より意見が上がっている。モデルケースとして栄地域にみどり館を活動拠点とした「栄コミュニティ」を設立できないか平成28年度より数回検討会を開催し、地元区長と協議を重ねてきた結果、令和2年8月3日に「栄コミュニティ結成協定式」を栄地区8行政区長と行った。
【業務の流れ】	①各コミュニティ運営委員長からの補助金交付申請書を受理する。 ②申請書審査後交付決定となれば交付決定書を発行して各運営委員長からの請求書を受け、補助金を交付する。 ③事業が終了したら、事業実績報告書を受理し、審査後確定となれば確定通知書を送付する。
【主な予算費目】	報酬、時間外手当、負担金補助及び交付金
【意見や要望】	旧合志地域にコミュニティを形成を増やして欲しいと区長等より意見が上がっている。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標	新規・拡充区分: 4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)	①各コミュニティ運営委員会(中央・黒石・野々島・合生・須屋コミュニティ運営委員会、合生地区地域づくり運営委員会、須屋コミュニティ運営委員会、栄コミュニティ運営委員会へ補助金交付を行った。 ・コミュニティ指導員に報酬を支払った。
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 予算の主な増減の理由 → ア: コミュニティや地区公民館への助成金額 円 イ: 会計年度任用職員(コミュニティ指導員)の報酬・期末手当の増、地区公民館等活動等助成金の増
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) → ア: コミュニティ構成区域の市民 人 イ:
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) → ア: 生涯学習を行っている人の割合 % イ:
*③成果指標設定の理由と 4年度目標値設定の根拠 自主団体数が増えることは、生涯学習団体の育成ができていくことにつながるから	
総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0	

(2) 各指標・総事業費の推移	単位	31年度	2年度	3年度	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度	
		実績(決算)	実績(決算)	目標(当初予算)	実績(決算)	目標(当初予算)	予定	見込	見込	
① 活動指標	ア 円	1,402,800	1,407,950	1,600,000	1,509,750	2,020,000	2,020,200	2,020,200	2,020,200	
② 対象指標	ア 人	34,763	37,874	37,000	38,235	37,500	37,500	37,500	37,500	
③ 成果指標	ア %	0	0	35	31.2	35	35	35	35	
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円							
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	(A) 事業費計	一般財源	千円	8,018	10,778	11,498	11,519	12,513	11,898	11,898
		(A) 事業費計	千円	8,018	10,778	11,498	11,519	12,513	11,898	11,898
		(A)のうち指定経費	千円	0	0	0	0	0	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正職員従事人数	人	4	4	2	2	2	2	2
(B) 人件費計	延べ業務時間	時間	425	180	200	40	200	200	200	
	(B) 人件費計	千円	1,684	709	796	156	796	796	796	
	トータルコスト(A)+(B)	千円	9,702	11,487	12,294	11,675	13,309	12,694	11,898	

事務事業名	コミュニティ運営事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	------------	-----	-------------	-----	-------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【原因】 栄コミュニティ結成後、令和3年度で活動開始するための補助金を計上したため、指標が増加している。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 各コミュニティでは、感染対策を行いながら、地域のニーズに応じた活動を行っているため。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 栄コミュニティでは、他のコミュニティ指導員の協力を得て、初めて子ども向けのイベントを行い、地域住民の満足度を向上させた。 各コミュニティでも情勢に応じたイベントを計画するなど、今後の成果向上が期待できる。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 他に類似事業が無い。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 コミュニティの事業はコミュニティ運営委員および地域住民の協力のものに行われており、不足する分を補助金にて賄っているため、削減は難しい。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 補助金の交付事務は、主に申請時や実績報告時の書類審査であり、事務量も多くないので削減は難しい。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 コミュニティ構成区における公民館数および戸数に応じて補助金を支給しているため、適正である。
	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 補助金交付は市の要綱に基づいて決定しているため。

3 評価結果の総括 (CHECK)

コミュニティの活動が計画通り行われている。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)	(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)																				
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2" rowspan="2"></th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <th rowspan="3">成果</th> <th>向上</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>維持</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <th>低下</th> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持				低下		
				コスト																	
		削減	維持	増加																	
成果	向上																				
	維持																				
	低下																				
(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策																					